

## 令和5年度 3月(第7回)理事会議事録

日時：令和6年3月14日(水) 19:00~20:20	
本会議場	
出席者：(会場) ナースプラザ福岡 3F 303 研修室	
会長	外山洋子
副会長	倉重康彦、緒方昌倫、大久保文彦
総務局長	池上新一
運営理事	生田幹博、田代恭子、佐藤謙一、加藤康男、牟田正一 嶋田裕史、新田誠、佐藤房枝、野田哲寛、浦園真司
理事	吉田重人、多田利治、樋口雄哉、石川雄太
監事	小山宣輝、北里謙二
書記	市丸加奈子、高木奈穂
事務局	金子千代美
欠席者：運営理事	木村賢司
参与	西浦明彦
理事	西野達士

【議事】 司会 総務局長 池上新一

### ◇議題

1. 令和6年度事業計画について 外山会長
2. 表彰委員会報告 池上総務局長
3. 第33回福岡県医学検査学会について 浦園地区長
4. 令和6年度定時総会について 池上総務局長
5. タスクシフト講習会について 緒方副会長
6. 日臨技九州支部会議報告 外山会長
7. 各部報告
8. 各地区報告
9. その他

## ◇外山会長挨拶

来年度の事業計画や表彰審査委員会報告など様々な報告事項もあります。本日は理事会で多数出席いただいていますので、皆様のご意見等をよろしく願いいたします。

### 1. 令和6年度事業計画について

外山会長

主なものとして、タスクシフトシェア実技講習会の推進。現在、約3,500人の会員の中で実技講習受講修了者が約800名で約2,500名は必須のWEB講習も未受講の状況。本来なら、毎月行わなければ全員受講できないが、WEB講習受講済み者が非常に少ない状況であり不定期開催となっている。参加者が50人を越えなければ実技講習会が行えないので、状況を見ながらの開催決定となっている。講習会登録はオープンとなっており、どこの技師会の開催でも登録可能となっている。受講の呼びかけをお願いしたい。

災害協定についてですが、福臨技は県との災害協定は結んでいない。各県との災害協定を結んでいるのは3都道府県技師会のみです。日臨技としては令和6年度中には20都道府県技師会には協定を結ばせたい意向です。福臨技は現在県庁と話を進めています。福岡県医師会、九州薬卸連合、医療機器協議会とも協議を進めており、令和6年度中の締結を目指している。

### 2. 表彰委員会報告

池上総務局長

会長表彰推薦者が7名、各地区より4名、執行部推薦が3名。執行部からの推薦は2年前より継続的に実施しているタスクシフト実技講習会に実務委員として尽力していることが理由として挙げられた。

福岡地区 尾上 由美 技師、北九州地区 西野 達士 技師

筑後地区 大塚 雅文 技師、筑豊地区 伊佐山 亮 技師

執行部推薦 川口 美香 技師、諸岡 紗代 技師、北川 敬資 技師

推薦理由およびこれまでの実績も問題なく、反対意見なく承認された。

生田運営理事より表彰規定改訂の提案

表彰規定を提示。現状とそぐわない部分を色分けして表示している。第2章第4条1と3、第4章4.2) についてである。文書の修正を説明され、反対意見なく承認された。

### 3. 第33回福岡県医学検査学会について

浦園地区長

資料提示あり。

プログラムを作成したので確認をお願いします。午前中に青年部企画、午後から医療DX関連、令和の時代をどう生きるか？シンポジウムの3企画を考えている。タイムスケジュールや謝礼等について確認願います。

演題数によっては時間が変更になる。終了時間は16:00過ぎを予定している。青年部企画で長野からの講師となるが、講師謝礼や交通費についても学会費負担で、予算内で対応可能。他団体からの講師については謝礼、交通費共に支払う予定。

ランチョンセミナーは300食で実務委員もランチョンに参加してもらう予定。純真

学園と国際医療福祉大学に学生ボランティア10～15名の派遣をお願いする。企業展示は1社5万円、2社の展示を考えていたが、4社から依頼が来ている。広告掲載の話が来ているが、「会誌ふくおか」掲載となるため学会費としては扱えない。様々な依頼等、発送作業等で経費が必要となるため、デジタル対応が可能か先方に確認し決めていく。

#### 4. 令和6年度定時総会について

池上総務局長

開催日は5月25日、八仙閣にて行います。講演会等行わないので、14：00より表彰式、総会と続きます。資格審査は13：00より行いますので、理事の皆様方は13：00前には集合をお願いします。各地区長には資格審査委員と議長・副議長の選任をお願いしておりましたが、3月末日までに決めていただき報告して下さい。議案書の締め切りを本日としていましたが、まだ未提出の部門がありますので、今週中には提出して下さい。

学術部門会議を総会に合わせて行う方向で調整するとのこと調整する。

#### 5. タスクシフト講習会について

緒方副会長

3月3日（日）に第15回講習会を開催した。参加は57名であった。今後の予定は未定である。

#### 6. 日臨技九州支部会議報告

外山会長

3月9日（土）に開催された。日臨技会長選挙は全国の投票率が45%、福岡は43%でした。2年前は33%だったので投票率は挙がっている。西浦参与に横地新会長より、会長推薦理事として執行部入りの打診があっている。

臨地実習指導者講習会ですが、令和6年度より実習受け入れ施設は指導者講習会受講修了者の在籍が義務付けられた。まだ受講していない施設が十数施設あるとのこと呼びかけをお願いされた。

災害対策マニュアルについて進捗報告があつた。なかなか各県進んでいない状況であつた。

全国検査と健康展ですが、予算50万円となっているが会場費等高騰し厳しい状況となっており、増額を希望する意見が出ている。

千葉・東京・神奈川では合同で大規模のタスクシフト講習会開催を検討している。1回に300名、年4回開催を予定。支部単位で行ってはどうかとの意見もある。

学術部門長より支部研修会の報告。開催前に申し込みが少なかった2分野は予算の見直しを行っていたが、1分野はその見直しを行っていなかったため赤字となった。WEBでの参加が浸透しており現地への参加者が60%を割り込んでいる状況であり、今後のあり方の検討が必要である。12月16・17日で3部門が同日開催となっていたため、日程調整をどうしていくのかも検討が必要である。

支部研修会の開催に関しての質問で開催会場となる県は関与しないが手伝えることはできると伝えるが、他の県が当事者の場合はどうしているのか？との質問に対して、広報に関しては県に依頼、開催県に日臨技から連絡してもらい、WEBも進んでいるので、研修会のあり方も検討が必要などと様々な意見が出た。

## 7. 各部報告

### ●管理・運営（生田）

表彰規定は先ほど述べたので、提出資料をご確認ください。

### ●財務管理部長（田代）

資料に沿った、2月の会計報告。

3月の支出を考慮しても、100万円ほどの残金が予測される。

### ●学術部長（佐藤）

資料あり。

研修会実施状況は資料の通りです。県学会一般演題は目標数を30演題としているが現在20演題の登録で、登録期間の延長を行っている。各理事の施設からの登録をお願いしたい。

会議費等が変更になったため、研修会の申請用紙の変更を行っている。主な修正は会議費の変更、提出先を学術事業部、領収書の押印欄の廃止等。反対意見なく承認された。

### ●精度管理（牟田）

資料あり。

令和6年度の試料申し込み状況は、資料の数量で現在6団体、締切りは3月31日。

令和6年度の試料作成費用は資料の通りで、約3000セット作成予定です。

令和6・7年度精度管理事業部委員ですが、試料作製委員に変更ありませんが、解析委員は一部変更あり。

月例サーベイのシステム、SEQCのデータをどうするか検討していかなくてはいけない。会員が利用できる最終期限は5月31日を予定。

### ●広報・情報管理（嶋田）

資料あり。

誌ふくおか3号の校正のご協力ありがとうございました。予定通り3月26日に発送します。今後のスケジュールは資料の通りです。

### ●企画運営（木村不在）

資料あり。資料の確認。

### ●公益事業部長（加藤）

資料あり。

福岡県医師会主催県民健康セミナーにWEB参加をしている。

4月13日（土）に第20回福岡県医学検査デー市民公開講座を開催しますので、ご参加をお願いします。

## 8. 各地区報告

### ●福岡地区（新田）

資料に沿った会議の開催予定報告。

### ●北九州地区（佐藤）

資料に沿った会議、研修会報告。

2月17日（土）に北九州地区学術発表会をハイブリッド開催した。参加者は60名

でした。

質問事項、次年度の地区の体制がほぼ固まっている。事務局への報告はどうすればいいのか？総会前には確定させる必要があるので、確定した時点で事務局へ提出いただく。

●筑後地区（野田）

資料に沿った会議の開催予定報告。

4月18日（木）に筑後地区前期講演会をハイブリッドにて開催予定。

●筑豊地区（浦園）

資料に沿った会議や研修会報告。

今年度予定していた地区行事はすべて終了した。

9. その他

1. 後援依頼 3件

申請団体：関門地域感染症研究会

第96回抗菌薬適正使用セミナー 2024/4/11

申請団体：日本診療情報管理学会

第50回日本診療情報管理学会学術集会 2024/8/22・23

申請団体：九州肺機能談話会 世話人 アストラゼネカ（株）

第81回九州肺機能談話会 2024/3/9

反対意見なく承認された。

2. 各地区の役員や部門委員等4月15日までに事務局に報告し、総会時に学術以外の他の各部門も会議行うことが決定事項となった。総会終了後に短時間の臨時理事会を行うので、その後に各部門会議となる。

議事録作成 令和6年3月15日

池上新一

議事録署名

\_\_\_\_\_印 \_\_\_\_\_印 \_\_\_\_\_印